

小児がん拠点病院の診療実績の概略（H28年度現況報告書より）

	18才以下の初発診断例(H27年1/1～12/31)				長期フォローアップ 体制の構築	緩和ケアチーム の設置(総人数)	セカンドオピニオンの 提供体制
	造血器腫瘍	固形腫瘍	うち脳・脊髄腫瘍	(合計)			
北海道大学病院	15	41	16	56	○	○(17人)	○
東北大学病院	14	19	12	33	○	○(34人)	○
埼玉県立小児医療センター	53	30	7	83	○	○(16人)	○
成育医療研究センター	39	54	23	93	○	○(14人)	○
東京都立小児総合医療センター	37	39	17	76	○	○(19人)	○
神奈川県立こども医療センター	37	30	15	67	○	○(13人)	○
名古屋大学医学部附属病院	33	84	23	117	○	○(12人)	○
三重大学医学部附属病院	28	24	10	52	○	○(19人)	○
京都大学医学部附属病院	16	19	4	35	○	○(13人)	○
京都府立医科大学附属病院	8	32	9	40	○	○(37人)	○
大阪府立母子保健総合医療センター	43	25	2	68	○	○(11人)	○
大阪市立総合医療センター	26	31	13	57	○	○(11人)	○
兵庫県立こども病院	48	31	10	79	○	○(9人)	○
広島大学病院	24	35	17	59	○	○(11人)	○
九州大学病院	34	51	6	85	○	○(28人)	○
(H27年小児がん拠点病院合計)	455	545	184	1000			

(参考:H23年合計、H26年合計) (355、377) (445、519) (190、221) (800、896)

	診療従事者 の配置要件	キャンサー ボード の定期開催	院内がん登録 の実施	臨床試験・ 治験の 件数	左記以外 の 臨床研究	相談支援センター の設置 (1年間の件数)	保育士の配置 (人数)	家族等が利用できる 長期滞在施設
北海道大学病院	○	○	○	16	13	○(177件)	○(2人)	○(全8室)
東北大学病院	○	○	○	20	5	○(1567件)	○(6人)	○(全18室)
埼玉県立小児医療センター	○	○	○	23	13	○(709件)	○(11人)	○(全5室)
成育医療研究センター	○	○	○	16	2	○(512件)	○(9人)	○(全21室)
東京都立小児総合医療センター	○	○	○	40	20	○(1090件)	○(13人)	○(全12室)
神奈川県立こども医療センター	○	○	○	18	19	○(437件)	○(17人)	○(全8室)
名古屋大学医学部附属病院	○	○	○	10	11	○(573件)	○(3人)	○(全12室)
三重大学医学部附属病院	○	○	○	24	7	○(403件)	○(1人)	○(全6室)
京都大学医学部附属病院	○	○	○	32	9	○(1269件)	○(3人)	○(全37室)
京都府立医科大学附属病院	○	○	○	107	16	○(134件)	○(8人)	○(全5室)
大阪府立母子保健総合医療センター	○	○	○	6	2	○(108件)	○(15人)	○(全12室)
大阪市立総合医療センター	○	○	○	26	0	○(387件)	○(6人)	○(全8室)
兵庫県立こども病院	○	○	○	20	8	○(265件)	○(6人)	○(全16室)
広島大学病院	○	○	○	23	5	○(87件)	○(20人)	○(全11室)
九州大学病院	○	○	○	20	0	○(562件)	○(2人)	○(全9室)

	チャイルド ライフスペシャ リストの人数	小児科領域に 専門的知識を 有する臨床心 理士の人数	小児科領域に専 門的知識を有す る社会福祉士の 人数
北海道大学病院	0	2	1
東北大学病院	1	2	2
埼玉県立小児医療センター	2	8	6
成育医療研究センター	3	16	7
東京都立小児総合医療センター	0	15	6
神奈川県立こども医療センター	0	9	5
名古屋大学医学部附属病院	3	4	2
三重大学医学部附属病院	2	2	2
京都大学医学部附属病院	0	2	1
京都府立医科大学附属病院	0	1	2
大阪府立母子保健総合医療センター	2	13	6
大阪市立総合医療センター	1	5	2
兵庫県立こども病院	0	3	3
広島大学病院	2	2	0
九州大学病院	2	1	1

	長期フォローアップ外来・移行期医療の状況
北海道大学病院	週5回。内分泌・神経障害の確認、移植後フォローアップを実施。治療終了10年以上経過、あるいは20歳以上では成人科へ移行する方針。
東北大学病院	週2回の長期フォローアップ外来の中で内分泌・循環器外来とも連携。移植後フォローアップ外来(月4回)も実施。
埼玉県立小児医療センター	現時点では造血幹細胞移植後患者のみを対象、今後その他の患者についても対応予定。20～30歳の間で成人科へ移行する方針。
成育医療研究センター	週5回。治療施設、治療内容に関わらず小児がん経験者を対象に、腫瘍科医長、医員、専任看護師、臨床心理士でフォローアップ外来を担当。
東京都立小児総合医療センター	週1回、脳腫瘍長期フォローアップ外来もあり。12歳頃から移行外来を受診し、隣接する医療機関と連携し、20歳までに成人科へ移行。
神奈川県立こども医療センター	今年度から済生会横浜市南部病院へのフォローアップ移行を開始。今後、神奈川県立がんセンターとの移行期医療協議会を開催予定。
名古屋大学医学部附属病院	院内各科、紹介元の地域基幹病院、名古屋医療センターの長期フォローアップ外来(血液腫瘍患者)との紹介連携を行っている。
三重大学医学部附属病院	小児がんの専門医が原則として週1回、20歳以降の小児がん経験者の診察を行い、必要に応じて成人科への紹介を行っている。
京都大学医学部附属病院	週1回、成人の診療科と小児科が合わさって診療に当たっている。また多職種による心理面でのフォローアップも実施。
京都府立医科大学附属病院	小児医療センターに設置された長期フォローアップ外来で、成人科との連携の下で実施。初診から現在までの診療録を地域の施設間で共有。
大阪府立母子保健総合医療センター	治療終了から5年経過した患者を対象に長期フォローアップ外来に移行。問題がない場合は年1回の受診として、地域で基本的にフォロー。
大阪市立総合医療センター	週1回の長期フォローアップ外来で、MSWIによる問診、小児科医による診察、多職種カンファを行い、後日に看護師が支援方法等を家族に連絡。
兵庫県立こども病院	血液腫瘍内科を中心とした長期フォローアップ外来(月1回)。内分泌科とは毎月症例検討を行い、院外連携も実施。
広島大学病院	小児血液専門医を中心に多職種連携による長期フォローアップ外来(週2回)。成人移行症例は内科や地域のかかりつけ医と連携。
九州大学病院	小児科・小児外科で長期フォローアップ外来を実施。内分泌・心臓・神経・腎臓グループとも連携。遠方の患者には情報提供した上で連携。